

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月27日

事業所名 児童発達支援センターひかり園

配布数：16名 回収数：12名 割合：75%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	11	1		法令を遵守したスペースを確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	9	3	・活動によっては体制が厳しいと感じることがある	・昨年度と同様、法令で必要とされる配置数に加え、臨時職員1名、パート職員3名を配置しています。また、専門性を高めるため研修会、部会等の派遣や関係機関との連携など業務量の増加に伴い、計画的に正規職員を増やす予定です。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	3	・玄関前に段差があるが、運動発達の観点では意味があり、問題はないと思う。 ・子どもたちに危険な箇所がないか、毎日、確認している ・主に外来教室で利用する階段については、安全対策が十分でないと感じる	・移転した新園舎は、バリアフリー化されていますが、2階部分があるので、移動に際しては安全への配慮が必要です。手すりも適宜設置されていますが、園児が適切に使用するよう指導と管理に努めます。 ・引き続き、様々なウイルス性感染症の感染防止対策として、設備や備品の清潔を保てるよう、日々の清掃に努めます。また、適宜、加湿器や清浄器を稼働し、清潔で安全な空間を保ちます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	1	・朝、午後の掃除や片づけは、細かな部分まで意識している ・子どもたちが安全かつ快適に遊べるように、遊具を拭いたり園庭にコーナーを設営したりしている。 ・新築なのでどこもきれいでいいに使用していきたい。	・引き続き、様々なウイルス性感染症の感染防止対策として、設備や備品の清潔を保てるよう、日々の清掃に努めます。また、適宜、加湿器や清浄器を稼働し、清潔で安全な空間を保ちます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	2	・業務改善については、幅広い職員の意見聴取が必要だと思う ・時間が十分とは言えない ・話し合える場がもう少しあってもよいと思うが、時間を気にする職員もいるのではないかと ・十分な時間はとれないが、隙間時間を有効活用したい	・クラス会議・リーダー会議・学習会等で支援内容の振り返りや見直し検討を行なっています ・会議時間の確保は、引き続き、クラスごと、担当ごとに会議日を分散して実施していきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	12		・事業所内にとどめていると思う。	・必要に応じてホームページで公表していますが、職員および保護者への周知は徹底できていないと思います。改善します。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	12			・自己評価結果を園のHPにて公開しています。

⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	10	2	・よくわからない	・保護者及び事業所内の2者評価をとっています。第三者による外部評価については現在実施の予定はありませんが必要に応じて実施を検討していきます。
---	---------------------------------	----	---	----------	--

⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	12		・研修の機会を確保して下さり感謝している ・研修の機会はあるが、フィードバックが十分ではない	・職種や経験に応じた研修に派遣し専門性を高めます。今年度は、オンラインまたは対面での研修会に参加しました。フィードバックの時間を確保できるよう工夫します。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	12		・前期・後期とアセスメントやモニタリングを行ない、児童発達支援計画を作成しています。クラス会議の時間が十分にとれるように調整していくことが課題です。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	1		・全園児について、共通のアセスメント表を使用しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	12		・指導があるので勉強になる	・障害児支援利用計画やアセスメントした情報をもとに課題整理を行ない、【身辺自立】【からだ・運動（粗大・微細）】【言葉・対人関係】【遊び】の5領域を踏まえて、具体的な短期目標や支援内容を検討後、作成しています。家庭支援についても具体的な内容を明記しています
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	12			・活動内容については、年間療育目標、前期・後期の支援目標に沿い、リーダー会議、クラス会議、年長会議とそれぞれクラスの枠を超え全職員で意見を出し合い、活動プログラムを立てています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12		・できる時とそうでない時がある ・会議等で意見交換を行う	年長児の取り組みは、発達課題別に分けグループ集団による療育を行なっています。より子どもたちのニーズに応じた遊びの工夫や検討が必要です。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	12		・状況に応じて変更を加える ・会議等で意見交換を行う	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	12			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12		・時間的な制約はあるが、できるだけ話すようにしている	・朝礼で、活動内容や職員体制について確認、終礼で振り返り（ひやりはっと等）し、職員間で情報共有を行なっています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12		・できたりできなかったりする	また、会議（ケース・指導者会議等）で、クラス運営や子どもの評価、支援の在り方等について検し、充実した支援に繋がるよう努めています。

	①9	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	11	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>療育日誌で記録したものをもとにクラスだよりや年長だより等を作成し、定期的に発行しています。</li> <li>保護者の方に支援のねらいや療育内容の今後の展開等についてお伝えし理解を得ています。</li> </ul>
	②0	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>前期・後期のモニタリングのひとつとして、「あゆみ」をもとに保護者との個別懇談実施し子ども理解を共有しています。</li> </ul>
関係機関や保護者との連携	②1	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>最もふさわしい人かどうかはわからない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援専門員が、ケア会議等で課題を含め、情報共有しています。</li> <li>相談支援専門員は、必要な会議や事例検討会に参加し、実践と研修を積み重ねています。</li> </ul>
	②2	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて実施している</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>こども発達支援センターや障がい福祉課、ネウボラ課等と必要に応じて情報共有や相談、報告を行ない適切な支援を行なえるよう努めています。</li> </ul>
	②3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者を通じて把握することの方が多い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常的な留意点等については、受診の際に、保護者を通じて医師の意見を聞いていますが、就学に際しては、関係者が集まってケース会議を開催しています。</li> </ul>
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			<ul style="list-style-type: none"> <li>移行がスムーズに行なわれ、充実し安定した生活がおくれるように子どもの特性や状態像について丁寧に伝え連携を行なっています。入園する児童についても、児童発達支援事業所等から引き継ぎを行ない、適切な支援に繋げていきます。集団適応が困難な場合、保育所等訪問支援事業に繋がります</li> </ul>
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12			
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>オンラインでの研修等が増え、グループワークなどをする機会ができたのはよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対面での研修会も少しずつ行なわれているため、連携や学習会に積極的に参加できる機会をつくっていきます。</li> </ul>
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する	5	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>なかなか持てない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣の保育所との連携や交流など今後検討していきたいと思いま</li> </ul>

	機会があるか				す。
	②⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	4	・参加する人は限られている	・自立支援協議会へは管理者が、また部会には児童発達支援管理責任者が参画しています。
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12			・クラスの活動の様子についてクラスだけで伝え、我が子だけでなく、他児の育ちなども共有できるよう発達を捉えた支援で伝えるようにしています。
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	3		・家族支援プログラムについては職員の研修は継続していきますが保護者に向けた学習会等をクラスごとで行ないました。
保護者への説明責任等	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	12			入園説明会で重要事項説明として伝えています。
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	12			・全保護者に向けて、療育ガイドラインの中で、療育のねらいや内容について説明をしています。また、家庭訪問や懇談を設けて個別に説明をしています。
	③⑭ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12		・関係作りには気をつけている ・自分なりのことばではあるが、保護者の疑問等への助言を行っている	・保護者同士が交流できる場として静養室を開放し、保護者会活動に利用されています。保護者会活動は保護者主体ではありませんが、協力や支援はしています。
	③⑮ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	12		・担当の職員がよく動いている	
	③⑯ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	・一人ではなく、クラス担任、主任、園長に報告、相談し、必要に応じて指示を仰ぐ	・気軽に相談できる信頼関係を構築しながら、子どもの育ちへの願いや子育ての不安や悩みを受け止められるようにタイムリーに話し合いができるように努めています
	③⑰ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	12			・療育活動や行事のねらいをたよりで知らせ、保護者の方が見通しをもてるように工夫しています。ホームページで園の行事などの様子を伝えています。
	③⑱ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	12		・板書事項等も含めて、細心の注意を払っている ・週のおたより等で活動の内容や子どもの状況を発信する場を設けている	・取り扱いについては、同意を得てから関係機関と連携しています。また、入園時に個人情報の取り扱いについて説明し、同意を得ています。
	③⑲ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12		・場を設けても、参加しにくい人はまだいると思う	・保護者会主催のおしゃべり会に管理者や担当職員が参加させてもらい、意見交流をしています。質問に応じたり、考え合ったりし

					て、保護者同士の関係づくりをしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	2	・移転して減ったと思う お泊り会のお店屋さんには、学区の民生委員さんにご協力をいただきました。今後も継続していく予定です。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	12		・防犯マニュアルは把握していない。訓練の実施もしていない。 ・火災を想定しての避難訓練を定期的に行い、「通報・避難・消火訓練」を消防士の指導のもと年に1回実施しています。地域と連携し、防災訓練などの取り組んでいくことが課題です。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	12		・消火通報訓練のみ。津波を想定した訓練は実施していない
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	12		・新年度に調査票による園児の健康状態の把握をし、職員間で共有しています。 ・食物アレルギーに関しては、医師の指示書のもと除去食など対応しています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	12		・自クラスに該当の園児がいなくても気をつけている ・細やかに保護者と連絡を取り合いながら注意して取り組んでいる
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	12		・何が起きたか。状況の共有を職員間で実施している ・日々終礼時に「ひやりはつと」の確認をしています。具体的な対応策を検討し、事故防止意識を高めています。また安全点検日を定め、危険個所の改善に努めています。危険を予知し、事故に至らないように努めていきたいです。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	2	・年度はじめに「倫理要綱」の読み合わせなど職員としての心得などを確認し、支援姿勢について自ら考える機会にしています。 ・虐待防止啓発のための研修会に参加し、全職員学習の機会として研修報告を行なっています。研修の回数が少ないことが改善すべきことです。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12		・身体拘束について切迫性、非代替性、一時性について理解を共有するとともに、日常的な関わりの中で、適切であるかどうかをチェックし合う機能を高めるよう努めます。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。